

説教

聖日礼拝 北浜チャーチ
黒田 禎一郎

2019年3月17日(日)

主 題:「舌の破壊力」

—イエスと共に—

テキスト:ヤコブの手紙3章5b-6

はじめに

- ・世界的に異常気候がつづいています。

昨年11月8日、米国カリフォルニア州で発生した森林火災は、15日間延焼して鎮火しました。同州で起こった山火事としては、史上最大の火災となりました。とにかく東京23区に当たる土地(6万2千ヘクタール)が焼失し、死者 人、不明者 名、そして 万3千棟以上の家屋が火災により焼失もしくは破壊されました。

- ・日本でも、「マッチ一本火事の元」という標語がありますが、小さな火が、森を燃やし大火事をもたらします。そのように、舌は小さくても大きな影響、結果をもたらすのだということです。
- ・ヤコブは、小さな舌によってもたらされる大きな影響について、次のように言いました。 **ヤコブ3章**

3:5 同様に、舌も小さな器官ですが、大きなことを言って誇るのです。ご覧なさい。あのように小さい火があのような大きい森を燃やします。

3:6 舌は火であり、不義の世界です。舌は私たちの器官の一つですが、からだ全体を汚し、人生の車輪を焼き、そしてゲヘナの火によって焼かれます。

この聖句は、舌について3点のことを教えてくれます。

- ① 「からだ全体を汚す」: これは私たちの現在に与える影響
- ② 「人生の車輪を焼く」: 人生の一生にかかわる影響
- ③ 「ゲヘナの火によって焼かれる」: 永遠的な影響

- ・この3点は、私たちの言葉が、現在だけでなく、時には私の一生、さらに永遠にまでかかわる結果を生むことがあると教えています。私たちにとっても、これは非常に大きな警告であります。
- ・そこで今日は、この3点について学びたいと思います。

大切なポイント**1. 小さな舌の大きな表現**

- ・ **3:5 同様に、舌も小さな器官ですが、大きなことを言って誇るのです。ご覧なさい。あのように小さい火があのような大きい森を燃やします。**

- ・ 誇大広告というものがあります。実質以上に、大きく広告することで、人の心は惑わされます。みなさんの中でも誇大広告に乗せられて、買い物し、悔しい思いをさせられた方もおられるでしょう。しかし実は、私たちの小さな舌が、

誇大広告にもたとえることができるような、大きなことを言うといっているのです。

- 「嘘の上塗り」という言葉があります。一つ嘘をつくと、それを隠すために、次から次へ嘘を重ねていかなければならず、どんどん嘘が大きくなっていきます。そういうことを経験することがあります。
- 私たちは言わなければよかった、と思うようなことを言ってしまいます。さらにそれをカバーしようとして、また失敗を重ねてしまうという、恥ずかしい思いをするのではないのでしょうか。それは言葉の悲劇です。そのように、私たちの舌は小さいですが（外からは見えませんが）、実は非常に大きなことをしてしまいます。
- 小さな舌が、大きな結果をもたらします。
 - ① 現在も舌の失敗によって、私という存在が失敗という評価を受ける
 - ② 現在も舌の失敗によって、人生の一生にかかわる問題を抱える
 - ③ 現在も舌の失敗によって、永遠的な判決を受ける
- まさしく、舌は恐るべき器官です。神は本来、舌をそのようにお造りになられたのでしょうか。いいえ、神の形に似せて造られた人間は、本来そのような存在ではありませんでした。しかし、残念ながら神のお心から離れてしまった結果、私たちは舌を制御し正しく用いられなくなりました。その結果、そこにさまざまな問題を抱えるようになってしまいました。
- 舌は小さな器官です。しかし、大きなことを引き起こしてしまいます。そこで、もう少し舌の問題を掘り下げてみましょう。

2. 舌は火である

3:6 舌は火であり、不義の世界です。舌は私たちの器官の一つですが、からだ全体を汚し、人生の車輪を焼き、そしてゲヘナの火によって焼かれます。

1) 放置されたままの舌

- 放置されたままの小さな火には、破壊的な力があります。同じように放置されたままの舌にも破壊力があります。この世（コスモス）は神によって造られましたが、今はサタンが支配しています。サタンに支配された本質は邪悪なものです。イエスは、悪に支配された人間の姿を次のように言われました。 **マタイ福音書**
- **15:11 口にはいる物は人を汚しません。しかし、口から出るもの、これが人を汚します。」**口から出るもの、すなわち言葉ですが、それは人の心中にある思いです。つまり、心中に潜む悪が舌を通して外に現れてくるのです。
- からだの器官の中で、世の邪悪さを現わすのが舌です。舌ほど邪悪なことが起こる原因を作る器官は、ほかにありません。その意味で、舌は特別な器官です。舌は私たちの内に邪悪な思いを外に出し、それによってからだ全体を汚してしまいます。その結果、私たちの人生が破壊されてしまいます。

{例 話} ナチス・ドイツの指導者ヒットラー

- ・第二次世界大戦を引き起こした中心人物の一人は、ドイツのアドルフ・ヒットラー (Adolf Hittler) でした。彼は鏡の前で、何度も話し方を練習し、いかにして人心をつかむかを研究したそうです。
- ・彼の話し方を映像で見ると、一種独特のジェスチャーと話法でした。それがドイツ国民を感動させ、惑わせたのでした。彼の舌を誰も抑えることはできませんでした。ヒットラーを見る限り、ヤコブがここで言っていることが事実であると言わざるを得ません。
- ・舌は正しく火のようで、ドイツ国民を大きな過ちへと先導してしまいました。当時、ユダヤへの憎悪心が次第に増し、600万人以上のユダヤ人を殺害 (ホロコースト) し、異常な行動へと発展していきました。そればかりではありません。
- ・ホロコーストの結果、ドイツ国は憲法で弱者 (難民) を受け入れることを制定しました。現在ドイツが抱える難民問題の根の一つは、ナチス・ドイツが行なった邪悪な行いに由来していると言われます。一人の指導者が放った誤った言葉が、国を誤った方向へと導きました。そして、現在なおその問題は燃え続けているのです。

2) 舌を管理する

- ・皆さん！ ここまで私たちは舌の影響力、破壊力を考えてきました。舌を制することは、大変困難なことです。ヤコブは次のように言いました。

3:2 私たちはみな、多くの点で失敗をするものです。もし、ことばで失敗をしない人がいたら、その人は、からだ全体もりっぱに制御できる完全な人です。

- ・現代の私たちも、舌を制することが困難であることは分かります。しかし、言葉を制御しなければ大変なことが起こってしまいます。では、どうすればよいでしょうか。

① 舌の問題を認識すること

- ・何かを決断する際には、何が問題かを認識することです。言い換えれば、問題を認識できたら、通常はその問題に対処することができるということです。問題を認識しないまま、なんとなく不安の中にいるなら、神経が参ってしまいます。また、問題を起こさないためにも、問題を認識しておくことは重要です。
- ・しかし、それでも難しい場合は、言葉を発しないことです。箴言には次のような言葉があります。「愚か者でも、黙っていれば、知恵のある者と思われ、そのくちびるを閉じていれば、悟りのある者と思われる。」 (17:28)。
- ・いかがでしょうか。舌の問題を認識することは、知恵を得ることです。不必要な問題を起こさないために、舌は火のようであり、森全体を焼いてしまうほどの破壊力があることを、まず認識することです。

② イエスの内住

- ・ 私たちの内から出るものは邪悪なものです。それはこの世の悪に支配された結果です。しかし、私たちには希望があります。それは、悪に支配されて生きる人生ではないことです。聖書は次のように語ります。

「だれでもキリストにあるならば、その人は新しく造られた者である。古いものは過ぎ去った、見よ、すべてが新しくなったのである。」 2コリント5:17

- ・ すなわち、キリストにある人は、「新しく造られた者」です。古い罪の邪悪な心に支配された、古い人ではありません。そうです。イエス・キリストが十字架にかかり死んでくださったのは、私たちが古い人から新しい人とされるためでした。
- ・ 古い人は、イエス・キリストとともに死んだはずですが、そして今生きているのは、イエスが復活されたように新しい人です。ここに、イエスを信じる人の祝福があります。
- ・ 私たちが舌の問題から解放され、舌を管理することができる道はイエス・キリストにあります。イエスが私たちの内にお住みくださるなら、古い私はいないはずですが、全きお方であるイエスが、私をご支配くださるからです。それはイエスをキリスト（救い主）と信じる人の特権です。なんとという幸いではありませんか。

ま と め

主 題:「舌 の 破 壊 力」

—イエスと共に—

- ・ 今日、私たちは舌の持つおそろべき破壊力について学びました。舌を制することができる人はいません。ヤコブは言いました。
3:2 私たちはみな、多くの点で失敗をするものです。もし、ことばで失敗をしない人がいたら、その人は、からだ全体もりっぱに制御できる完全な人です。
- ・ 私たちは、どう生きればよいのでしょうか。
 1. 舌の問題を認識すること
 2. イエスと共に生きる（イエスの内住）
- ・ 最後に、次のみことばを読んで「まとめ」とします。



「だれでもキリストにあるならば、その人は新しく造られた者である。古いものは過ぎ去った、見よ、すべてが新しくなったのである。」 2コリント5:17